

肝機能検査

肝臓病というのは、飲みすぎが原因というイメージがありますが、それだけではありません。主にアルコール、ウイルス、過食の3つがあります。我が国の肝臓病の多くはウイルス感染によるものです。



主な検査項目	目標値	解説
AST (GOT) 心筋、肝臓、腎臓などに多く存在する酵素	30IU/ l 以下	急性肝炎の早期診断、経過観察の指標
ALT (GPT) 肝臓にある酵素	30IU/ l 以下	
γ-GTP 肝臓の解毒作用に関わる酵素	50IU/ l 以下	☞高値の場合 アルコール性肝障害、肝悪性腫瘍 γ -GTPを下げるには飲酒量を減らすことが大切
ALP (アルカリフォスファターゼ) 主に肝道から出る酵素	100~330IU/ l 以下	☞高値の場合 肝臓・胆のう障害、骨変化が伴う病態

知っ得！ポイント 注目されている「NASH」(ナッシュ)

一昔前までは「脂肪肝は肝炎や肝硬変には進行しない」という認識がありました。しかし近年、肝臓に脂肪が沈着しているだけの単純な脂肪肝以外に、**非アルコール性脂肪肝炎**(non alcoholic steatohepatitis : NASH)という、放置すると肝硬変、肝臓がん¹に進行するものがあることがわかってきました。